

”新しい年に”

新しい年を迎える度に、決意を持って出発する事は、恒例とはいえ大事なリズムだと思います。私は、平成30年の目標を記録して、年末に総括しようと思います。体力が衰えを感じる昨今ですが、気持ちだけは前向きに、強気に保ちたいと決めております。目標を持つことは、生活に張りを持つ事になりますし、自分の行動を決める基礎となると思います。

私は、撮影に行く時、どんな状況と出会い、どんな作品を撮りたいかを考え、撮影機材を考える様にしています。そうしますと、考える分だけ楽しみも増えます。自分の想像と大きく違い、未熟にも失望する時もありますが、逆に新鮮な感動を感じる事もあります。そんな出会い総てが学習であり、楽しい写真人生だと思っています。

嬉しく、楽しい事と言えば、撮影する時、気に入った作品が撮れた時、自分の作品が認められた時なのだと思います。私は、自分の作品のコレクターですので、気に入った作品が増えると、とても嬉しいです。

コンテスト案内 (関東本部)

第10回「人間大好き！」フォトコンテスト

「人生、喜びあり・悲しみあり」…いろいろな人間模様を切り撮ってください。スナップ写真は、写真の本道です。

今年の審査も全日写連会長の田沼武能さんです。全国規模の公募展に挑戦しましょう。人物を撮影した作品の場合はかならずその方の了解を得てください。サイズ：A4または四つ切・応募料1人2000円です。

締切り 4月30日(月)

コンテスト結果

「第40回スリーデーマーチフォトコンテスト」

全日写連主催のコンテスト、多数のご応募厚く御礼申し上げます。96点の応募の中から彩北支部長の新井さんが記念大会の最優秀賞に選ばれました。入賞者のうち会員の入賞者は次の通りです。

最優秀賞 新井博

優秀賞 中田叔子 沖舘宏 斉藤昭雄 船生利雄

入選 田中勝秋 保科幸祐 萩原征爾

小久保敦央

関東本部 委員長 佐藤親正



なので、作品の保存、整理には、自分で分かり易く、二重の安全を考えてまいりました。これでも十分とは言えませんが、今の時点では合格しております。コンテストに活躍している方は、整理が上手だと思います。目標のコンテストのホルダーを作り、応募したい作品を保存する事で、意識の向上にも効果

があり、その上、応募作品の選択に余裕を持って選べると思います。

思いつままに、色々と書きましたが、私は、委員長の任を受けるに当たり、自身の指針を「上げよう写友の和」としました。好きな写真を通して友情の和が広がる事こそが、自分の写真人生で一番の価値であると考えております。一番のお願いは、写友を大事にしてほしいと言う事です。お互いに、写友が人生の華の存在であれば、最高の喜びだと思います。

(寄稿)

第17回「全日本モノクロ写真展」

「光と影」「白と黒のグラデーション」から生まれる写真表現性の高いモノクロ写真に挑戦してみませんか？ 審査員は、昨年までアサヒカメラ月例審査員として評判の高い新進気鋭の写真家・清水哲朗さんとアサヒカメラ編集長の佐々木広人さんです。

9月に東京六本木の富士フォトサロンで「人間大好き！」「カラーフェア」と共同で「全日写連フォトフェスティバル 2018」として展示されます。

締切り 5月31日(木)

「第78回国際写真サロン」

海外39か国からを含め、応募作品9000点を越す中からことしは、次の方が埼玉県から選ばれました。新たに加わった東京都共催の& TOKYO部門優秀賞に中澤博さん、堀口清さんが輝きました。おめでとうございます。

入選 (一般) 笠原 将 益田譲二 森口菊枝
菊地博子 小島文夫

& TOKYO部門(ウェブ部門)
(優秀賞) 中澤 博 堀口 清

写真教室が開催されます

昨年12月20日に社告として新聞掲載された平成29年度の写真教室が2月3日(土)、4日(日)の両日、さいたま市桜区のプラザウエストにおいて、先着60人の定員で開催されます。今回のテーマは「表現としての写真」の撮影やプリントを学ぶことを目的にしています。第1日目は「写真表現とそのための画像処理の実際」がメインテーマで、渡辺英夫、小林進両講師をはじめ県本部写真教室のスタッフが指導に当たります。第2日目は、エプソンの技術スタッフによるプリントの実際と仕上げ作品について林喜一総本部理事、増田明弘県本部顧問による個別指導が予定されています。「きれいな写真」から一歩進んだ「表現としての写真」を目指す写真愛好家の多数の応募が期待されます。

秋の県例会(2017.10.28)出席者91名

上位入賞者

○ 単写真の部

高橋 範人 大宮
宮川 綾子 川口
小林千津子 川口
坂巻 時子 越谷
松澤 廣和 越谷
伊藤 春子 川口
服部 清次 川越
鈴木 博子 いるまの
内山 憲次 上尾
龍沢 豊文 いるまの



○ 組写真の部

坂巻 時子 越谷
服部 清次 川越
小林千津子 川口
宮本 壽男 上尾
高橋 徹也 いるまの
不破 隆夫 いるまの
宮川 綾子 川口
竹川 義之 川越
堀之内 稔 越谷
田村真由美 女性



組写真の部 第一位作品
坂巻時子さん「海風吹いて」

次回:冬の県例会

1月27日(土)13時15分～県民活動総合センター3階セミナーホール1 ワンポイント講座坂巻高次先生「被写体との対話」

組写真では、坂巻時子さんの作品に審査員の票が集中した感じでした。一枚一枚がそれぞれ単写真のように、フォトジェニックな美しさに満ちた4枚の写真の組合せから、力強い明日への元気をもらいます。坂巻さんは80歳半ばを過ぎたご高齢で、健康のこともありません。写真に対するエネルギーには感服するよりありません。

ここのところ、組写真の部は前年比減少気味でベテランの常連が上位を占めていますが、ご自分が感じた風景を誰にでもわかりやすく、素直に組み合わせるといふ、組写真の原点に戻って大勢の皆様が組写真への挑戦に期待したいものです。(古怒田)

支部対抗戦2017 審査結果

第2回支部対抗戦は全国から749支部、2800人を越える応募があって、全国レベルのコンテストとして定着しつつあり、本年度の支部対抗戦も予定されています。引き続き支部のチームワークを結集し、参加ご応募をお願いします。

「風景部門」	22位 彩東支部
2位 川越支部	
3位 東松山支部	「スナップ部門」
8位 彩北支部	11位 川口支部
11位 フォト茜支部	17位 越谷支部
18位 SKP支部	30位 女性支部

首都圏ブロック第2回撮影会

10月14日千葉県佐原市の「佐原の秋祭り」撮影会は折からの雨となりましたが、首都圏(東京、神奈川、千葉、埼玉)の会員約250名の参加があり、まつりのハイライト“の字廻し”など夜に至るまでの撮影会となりました。

次回は埼玉県が当番県で川越周辺の祭りを予定しています。

コンテスト結果 アサヒカメラ賞 箕田勇

特選 小林千津子 中田叔子

入選 新井 傳 豊田和代 阿部立子
木村英二 池田一郎 玉生純夫

支部写真展のお知らせ

(初日および最終日の開場時間の確認は県本部ホームページで)

第9回所沢支部写真展

会期:1/15(月)~20(土)9~17時
会場:所沢市役所(市民ギャラリー)
連絡先:二平茂美さん 090-2160-5304

第22回上尾支部写真展(旧すいよう支部)

会期:1/25(木)~1/31(水)10~17時
会場:上尾市民ギャラリー
連絡先:保科幸裕さん 048-722-9829

第13回女性だけの写真展(川越支部)

会期:1/29(月)~2/4(日)10~21時
会場:武州ガス ピーポケット 川越駅アトレ
連絡先:中野正子さん 049-233-1368

第14回ネイチャーフォト支部写真展

会期:2/13(火)~18(日)10~17時30分
会場:埼玉県立近代美術館
連絡先:関邦義さん 048-885-3992

第8回東松山支部展

会期:3/6(火)~11(日)10~17時
会場:松山市民活動センター
連絡先:安藤正さん 0493-22-2347

第20回記念彩北写真展

会期:3/8(木)~11(日)9時~17時
会場:パストラルかぞ 展示室・多目的室
連絡先:新井傳さん 048-524-6043

Kenko

SanDisk

Nikon

埼玉県写真サロン・埼玉の自然フォトコンテスト 協賛
(株)ニコンイメージングジャパン <http://www.nikon-image.com/jpn/>